

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名	つむじ 032	(C 除いた特殊語)	(/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0990.97	ma ^h kime <越中人はnaka-ziriと…>	
1744.60	マキメ <ツムジと…>	
1793.14	ツムズ (tsumuzi)	マキメ
1854.24	{girigiri} (同席の格差主事)	tsu ^h mudzi
1859.84	ma ^h kime [makimeと…] (全稿 1899 明治32.8.20号)	
1942.03	ma ^h kime <girigiriは…>	
2751.10	マキメ <古>	マキメ
2765.91	megurī <古>	magimē
3688.82	udzūmakj <普通> (エジ…)	udzūmakj
3712.15	makijirī <…>	makimē

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記
	102	—
項目名		(B 除いた共通語)
つむじ 032		(C 除いた特殊語) (6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5615.20	dʒin (dʒin ga maisteru と ɔ̃.)	
5620.32	キ̃ス̃イ̃キ̃ス̃イ̃ ス̃イ̃ = zi	
5624.85	ʒin «atama no ~» <指環 E の ʒin と ɔ̃. manuzin nagarezin tte. >	
5635.65	マキメ <英>	
5641.13	dʒin dʒinmaki <=> dʒin が あ る ʒin と ɔ̃. >	tsumudzi
5644.74	マキメシ <英>	
5654.94	ツムシ <古.カ>	ツムシ
5656.62	ツムシ <古>	
5659.73	ツムシ (英)	
5659.98	ツムシ <古>	ツムシ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名	フモジ 032	(C 除いた特殊語)	(7)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5665.46	マキマシ オハエ<マキマシバシヨガフイ>→MAKIMAWASI に分類	
5666.10	ツムジ<中央部. 河津川の東のツムジと云われる。>	マキ
5666.18	ツムジ (共)	
5674.59	マキ<多>	ウス
5676.84	マキ <ツムジTFL> (被調査の言. ツムジマカリは川の. ツムジと云われる)	
5677.60	ツモジ ツムジ 両肩持列の差違TFL	
5677.85	ツムジ<普通> <フモジの二つある所のフタツツムジ 前の所にあるもの トリツムジ >	
5686.15	markime <先が捲いて. ころら>	
5686.67	マキ<普通>	
5687.32	ツムジ (ツムジが二つある所の トリツムジ) 参照肯定)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(8)
つむじ 032			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5688.74	tsumudzi i:ya > uci < 嶺 之。岳。標準音の i:ya > uci < 嶺 之。	
5690.96	tsumudzi < 中ノ山から > ツムジ と言うと説明也。	maki
5691.37	(補) tsumudzi (おはあまが 補。ツムジと肯定也。)	makime
5696.13	マキメ 二つあるは トリイマキメ	
5697.24	ツムジ 二つあるは トリイツムジ	
5697.53	ma'kume < 普通には用へば >	
5697.86	-tsumuzi < [~ ya maiteru] と用へば >	
5698.54	-tsumuzi < 二つあるは [toriitsu'muzi] >	
5703.70	magime < 古 > kemagi < 古 >	tsumudzi
5710.42	マキメ ---- < 古に用へば >	マキメ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通語 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (9)
	102		
項目名			
つむじ 032			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5711. 85	udzumaki <子>	magime
5712. 17	makimi <古> tsüimudzi <今>	
5712. 90	makime (同島氏は { makime { uzüumaki <新> } 6 巻に)	
5714. 10	tsüimudzi <島方に 107. gidari, miji 石前 177>	
5723. 36	(tsumudzi) (新. [tsuumodzi], 新い... 新 [tsuumudzi] と) (177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200)	
5791. 07	tsuumuzi <多>	magime
5791. 68	makime ~ magime	
5792. 02	makime é 177 e	
5792. 62	magime <古>	uzüumaki
5793. 20	makime é 177 e	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	—
	102	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(10)
つむじ 032			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
6354.46	giri <=つむじの場合 nikko:とじ>	
6365.91	girigiri <=つむじの場合 nikko:とじ>	
6368.60	{giri} <新>	majmai
6375.40	giri giri (位置・数・巻詞に比しての特別の名称に)	
6376.68	giri <位置・数・巻詞に比しての特別の名称に>	
6385.10	girigiri <=つむじの場合には niko:giri>	
6386.66	maimaiko (位置・数・巻詞に比しての特別の名称に)	
6395.21	キリキリ <多>	マヤ
6395.61	girigiri (数・巻詞に比しての特別の名称に)	
6396.08	majmai..... (位置・数・巻詞に比しての特別の名称に)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () () は厳密にする。

質問番号	地図番号 102	普通注記 ページ (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (11)
項目名 つむじ 032		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6398.42	maimai (位置: 巻2の105号特別の名をい)	
6406.77	giri ズバオキ	
6408.88	ギリ <ニつあるのをニテアギリ 種にみちの巨ホリツンジンと云> <ギリが前頭部の2つあるのをニテギリと叫んで>	
6419.09	ギリギリクツ <ギリが前頭部の2つあるのをニテギリと叫んで> <ギリが前頭部の2つあるのをニテギリと叫んで>	
6428.13	ギリ <ニつギリのものをニテアギリと云>	
6428.76	ギリギリ <ギリギリが2つあるのをニテギリギリと云>	
6459.87	ギリ <希>	ギリギリ
6476.93	ギリギリ のギリギリが前頭部に二つあるときは、サッカーと云。 アグイ (気持の悪い) 1はアグイ、サッカーがアグイ、アグイは アグイと云。 アグイ (アグイ) エーゼン (海の内側) あり。 アグイ (アグイ) エーゼン (アグイ) あり。 アグイ (アグイ) エーゼン (アグイ) あり。	
6482.75	giri giri <giri giri ga mo: toru a qri 云>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>()()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(12)
つむじ	082		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6484.43	ギリギリ ギリギリ が 材料。	
6484.78	ギリ ギリの方はずい。	ギリギリ
6485.14	# ギリギリ <ニつある意地が意...という。>	
6485.82	12121 <2121はニつあるのは意地の性質である。 2121は頭の前の子にあり、字の生れ方のこと。意地意。 どれかいう。>	
6487.43	ギリギリ <フツ/ギリギリ ヒツ/ギリギリ>	
6490.30	2121 《アタマの〜》	
6491.49	{maimai} (海岸部の港部語で生れ育つオシ層。硬質直着物) 物...着てみると認める。	uzul
6494.55	1チンチン21 2121 <チンチン21は子供のつらうさば。 2121は大人の間うさば。>	
6497.77	maimai ニつあると pinai'sūzi という。	
6498.61	maimai (人に尋ねる くれと認めた。)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名	つむじ 032	(C 除いた特殊語)	(13)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6504.44	giri giri 倭光	mal mal
6506.86	tsuigimbo 二ある inaitsuigimbo <ツイゴジの形と同一の語に二ある。>	
6519.67	ツイイ (ツイゴジは 005 のカチツツの注)	
6520.03	ギリギリ 二ある場合 (注 = ツイギリギリ)	
6532.30	ギリ <余り多(た)い>	
6533.36	tsudzi 「ツジ」が二ある例を midai tsudzi とし。	
6534.41	tsudzi — <昔)方言言ふ方である>	mai mai
6536.68	giri giri <二つある場合は giri giri とし>	giri
6539.12	mai mai <昔)小川時に使ったが今は不利使わぬ。> <同七の注の如く有利の注。>	
6540.16	giri giri 二ある例を pinaigirigiri とし。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102		
項目名		(B 除いた共通語)	
つむじ 082		(C 除いた特殊語)	(14)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6542.27	ワズ〈割多く使〉	
6542.58	ギリギリ ^{ギリギリと…名前を削ぎ取} ^{〇ワズをワザルテ…という整理法とすると…}	
6543.25	マキ〈少〉	
6546.15	# イヅ ^{「イゾバミヒル」と使う} ^{〔#ギギ〕という}	(兩人は相當思ふと云ふ(272))
6548.26	# ijiguri 〈他〉 ^{和は guriguri といふ ~ といふ人} ^{いふと云う}	# guriguri
6650.79	ūzū ^{tsūmūzūji は 単独では使わないが、tsūmūzūji-magari} ^{の語彙には使われる。}	
6551.20	ギリギリ〈新〉	ママイ
6551.57	UZU 〈=つあぶとま 「ニイウス」という。〉	
6553.22	giri 〈若〉 (「ギリ」は若い人を使う)	tsuzi
6553.87	giri giri giri ^{どつどつ同じ程度に使うが「ギリ」が=つあぶとま、 相性が悪くという。右巻子左巻子=つあぶとまは別名可也} ^{いふ所。}	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	102	
項目名		(B 除いた共通語)
つむじ 032		(C 除いた特殊語) (15)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6554.08	ギリギリ (鼻音化) (FL)	
6558.09	NR (鼻音化に tsuzi, izi, giri, tsumuzi 等 想定された音素) (鼻音化)	
6559.67	uzu [(tsuzi) という]	
6564.20	giri giri (二つあるものに ついての名称は別にな...) (二つあり、腹の正固から外れていると 根拠が要... という)	
6564.51	giri giri	
6565.17	tsudzji { tsumudzji という } おぼろげな言い	
6573.17	izi (二つあるものに ついての名称は...) (二つあり、腹の正固から外れていると 根拠が要... という)	
6574.06	tsuzi (inaitsuzi) は二つあるものと言ひ、気負ひのしりとりたお (この意い意味) (二つあり) (二つあり) 古	
6581.52	ギリ (二つあるものは、お吉利。お吉利は、ツツと云う。ツツは人にも用いぬ) (二つあり、腹の正固から外れていると 根拠が要... という)	
6581.68	ギリ (二つにあるものには、お吉利) (二つあり、腹の正固から外れていると 根拠が要... という)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (16)
	102		
項目名			
つむじ 032			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6582.12	ギジ <希>	ギリ
6583.85	giri-giri <「ニツツリギリ」として、ニツツるのといふ。氷け荷重するに 備け得るという。>	
6585.25	ギリギリ <普通用いる>	
6590.35	ツジ <場所。巻に於ける世の心持を指す。>	
6591.02	ギリ <英>	ツジ
6593.98	giri-giri <(tsuzi)は半の場合にいう。>	
6600.53	maki <英>	makimaki
6603.82	ツムジ (ツムは別語のtsumuの母音の結合せる音節)	
6607.03	uzumaki <(tsumuzi)の逆)は意々、意味の野付け。 例: tsumuzimagari>	
6608.22	ツムジ <2ツツるの付 トリイツムジ>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名	つむじ 002	(C 除いた特殊語)	(17)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6609.05	ツモジ <=ツモジのオトリイツモジという>	
6610.77	ma'ki <makima'kiという人もいる>	
6611.68	makimaki <帛>	tsumudzi
6617.75	ツムジ <=ツモジのオトリツムジ>	
6618.46	ツモジ <ツモジのオトリツモジ>	
6618.51	#-tsumuzi <=ツモジのオトリ [Futatsutsumuzi]>	
6620.20	ツム (72°の北東にツム。)	
6626.06	-tsumuzi <=ツモジのオトリ [umatsu'muzi]>	
6626.46	-tsumuzi <横津 (tsumuzima'gari)>	
6628.23	-tsumuzi <=ツモジのオトリ [tsukietsu'muzi]「島居のオトリのオトリ」>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(10)
つむじ 032			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6633. 27	tsumuzi 多	tsumoji
6635. 20	tsumoji tsumuzi 区別なし	
6638. 14	-tsumuzi <=>みずは[Fuetsu-tsumuzi]と言う。>	
6640. 29	tsumozino makimaki <子>---<子)は=子(=子)秀>	tsumoji
6642. 84	tsuimozji =つみつじ" tori:tsuimozji	
6667. 81	me'guri <古>	tsu'mudzi
6677. 70	tsu'mozji <おはめずはと言う>	tsu'muzi
7208. 97	tʃi'dzimmaki (tʃi'dzimimakiのくまのうじ)と言う)	
7218. 26	tʃizimaki <つじ巻きの意>	
7239. 29	kjo:maki 巻物 <古>	yu'mi tsumuzi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(19)
つむじ 032			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7258. 89	tʃo:maki <新>	kjo:maki
7266. 09	kjo:mak (読尾のつむじ音は二場合特殊表現のみ)	
7266. 60	kjo:mak (読尾では tʃo:maki)	
7303. 29	giri giri (2つ2つ) (1つ1つ)	
7304. 26	N.R. < ? uzue ga mo: tʃorak >	
7307. 18	二つ二つ 徳川時代 東京。一般にtʃo:~ tʃi~, tʃi~とtʃo:~tʃi~の対比に用いられる。	
7312. 11	giri giri (多)	
7332. 97	giri giri < girigiriga. mo:tʃorak 程に言う >	
7338. 48	tʃʒi (tʃ音は、tʃo:~tʃi~とtʃo:~tʃi~の間に完全なtʃʒ tʃo:~tʃi~。一般にtʃʒ音はtʃo:~tʃi~の間に完全なtʃʒ)	
7340. 27	kjo:maki (tʃi~ tʃo:makiと南に)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	102	
項目名		B 除いた共通語
つむじ 032		C 除いた特殊語 (10)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7341.42	✪ ^マ マキ kjo:maki (本にkjo:maki. 語頭rの略記はrの語と異な)	
7341.51	giri giri <3>	kjo:maki
7342.12	qirigiri (=巻の部分) (真札はtsudzue なのは? あり) (注)	
7342.72	giri giri (多いと説明100% (取のw? r? 100% q:igi:igi Eマ?) 本に一般にこの地はrの略記はrの語と異な)	q:igi:igi
7349.91	tsizimaki <=7あるのは rjo:maki とい>	
7351.09	tfo:maki	
7351.68	tjon tjon mage ? 100% の kjo:maki なる。	
7352.14	ギリギッ (本や草 希)	✪ ^マ マキ
7352.97	ギリギリ (本は建物の名。 ✪ ^マ マキ 100% 希にrの語と異な → 井?)	
7353.51	サヲ <ギリギリ ギリギマ } rの語といふは本にrの語と異な。>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	[B 除いた共通語]	
項目名	つむじ 032	[C 除いた特殊語]	(22)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7403. 2/	uzuu <kono kowa ki(氣)ga arai ken uzuu ga futatsu mo> mo:toruu 採りとる。	
7404. 12	mai <maiga mo:toruu>の採り。 (~toruu ~ te oruu の略) 採り。	
7406. f3	tsuzi = 採りとるに ni'na'i'tsuzi とる。	
7408. f4	tsuzi ni'na'i'tsuzi (採りとる = 採りとる)	
7411. 27	tsuzi <tsuzi ga maitoruu 採りとる。>	
7411. 61	tsuzi <tsuzi ga maituu 採りとる。>	
7412. 3/	mai mai <mai mai ga mai-toruu> 採りとる。	
7413. 29	maitsuzi <tsuzi とる略する場合もある。>	
7420. 18	tsuzi <tsuzi ga mo:toruu 採りとる。>	
7420. 91	uzuu <Re'tji imaitoruu to So:ne ga magatoruu to ju: >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(2)
つむじ 032			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7423. 12	mai ---- <この語はオホビに於いてのみ用いられる。>	
7423. 77	{mai} <希>	
7425. 02	maituzi rjo: gama (数回に於ける場合)	
7425. 82	mai <希>	maituzi
7430. 75	tsuzi <otsuziと似ている。>	
7431. 08	tsuzi <(tsuzi ga mo:toru) と似ている。>	
7440. 72	otsuzi <上> <部境の地名に於ける時、rki-k kine:na otsuzi (itoru) と似ている。>	tsuzimaki
7450. 20	tsuzimaki <(tsuzimaki ga mo:toru) >	
7471. 38	tsuzi maituzi 虎ノ谷の地名に於ける時、rki-k と似ている。	
7500. 24	ツヅ <ツヅと似ている。> <ツヅと似ている。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名	032	(C 除いた特殊語)	(24)
つむじ			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7500.43	ツジ 二ツジ……二ツジの場合	
7500.66	ツジ 7721ツジ	
7501.14	ツジ } =ツジ (二ツジの二ツジをいう。) } =ツジ (二ツジの二ツジをいう。)	
7501.68	ツジ……二ツジ<二ツジの二ツジをいう。> ツジ12424 <ツ>	
7502.91	ツジ <二ツジの二ツジ =ツジをいう。>	
7503.11	macmae (位置数に1-10の特別な数字はない) (通称がiai)は二ツジの場合。iai)は15900.)	
7510.18	ツジ <二ツジ =二ツジの二ツジ。>	
7511.93	ツジ <二ツジの二ツジ =二ツジをいう。>	
7513.01	2424 ツジ <二ツジと同じように使う。>	
7513.43	2424 <位置数に10の特別な数字はない>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	102	
項目名		B 除いた共通語
ごむじ 032		C 除いた特殊語 (2f)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7522. 48	ツジ 〈位置によって異なる。 マイツジ (前-ある) / ヨイツジ (横-ある) / ニイツジ (ニつある)〉	
7523. 05	ギリギリ〈ケ。〉	マイイ
7523. 27	マイイ 〈位置、数々に異なる。〉	
7523. 38	ツジ 〈マイツジ 前-ある ニイツジ 2つある〉	
7523. 11	ツジ 〈2つあるのはニイツジ〉	
7523. 12	ツジ 〈2つあるのはニイツジ〉	
8300. 11	和イマク (老) / 和イマク (新)	
8300. 80	サウ 〈古〉	キキキ
8301. 56	サウ 〈新〉〈老人語〉	ノオリギリ
8302. 19	マキ 〈新?〉	ギリギリ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(26)
つむじ 032			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8303. 70	マキ <古> ギギルマキ <古>	マキ
8313. 88	gigimat (ギギマキの末尾の入声化。)	
8314. 52	gigimaki (奥平地方は温泉郷の特殊地域で、温泉方言の特色にマキと判別困難) (音は梅の中心、北温泉方言固有の発音 [sɯ̥ma/gigimat] とは違ふ)	
8322. 68	井saha <年> 井girirano <年>	
8324. 83	dzuzumaki (—makiは—matと変ず。語尾は入破音の符号。)	
8324. 83	tjizumat —makiの語尾から入破音に化す。	
8343. 74	gigimo <頭の中心をsayaという中の中=gigimooである。>	
8344. 11	gigi (girigiri > giigii > gigi である)	
8355. 62	tjommage 非常に珍しい音である。念押はT.L.O.M.A. 発音はT.S. 437である。	
8372. 47	dzogama <二重に巻いたという訳の音で「マキ」一般化 (上二重にT.S.S.) (奥平方言はjo: (両)のT.S.S.)>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A. 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名	つむじ 032	(C 除いた特殊語)	(27)

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
8873.43	gijigiji ^(K) makie...の方言に口音が異なるmakie方言の場合にいう。	
0237.84	tʃidzi <五分五分に使う>	matʃidzi
0276.50	matsidzin <matsidziという人がある。>	
0294.93	(matʃidzi)	
0340.00	matʃidzi <新> matsudzi <新>	
1261.80	N.R. <ti:tʃimatʃa:(→OL'n→ある話)ti:tʃimatʃa:(→OL'n→ある話) とあるが、つむじに当る語は無い。(matʃiである。)>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	(/)
項目名		(C 除いた特殊語)	(/)
つむじ 002			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4688.45	tsumudzi <英>	makime
5642.31	tsumudzi <英>	dzimmaki
5651.94	tsumuzi <英>	!makimaki
5686.67	ツムジ <英> (横間108号答) ツムジ 二つあるもの 折リマキ	マキ <普通>
5690.27	tsumudzi <新>	?makimaki
5697.53	tsat'muzi <普通は使わぬ...>	makume <普通に使うのは">
6605.84	ツムジ [英]	マキ
6611.61	tsumuzi <希上>	makimaki
6631.69	tsumuzi 新	makimaki
6634.07	tsumuzi 上	tsumuzi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(/)
つむじ 072			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0737.94	?atama no teppen ?ニワあまのは nidzw:maki (最後は2箇向レニ開レク(8-1)ニ入ル。)	N.R.
3725.72	バゴナスリ <竈の地い所にある半角の巻いてあるもの>	マキメ
3746.41	ツツ" <ヒカ>	マキメ
3757.32	ツムキ" (ヒカ) K06E	ツツ"
3768.50	マカリツムジ" <竈のヒカのあつもの>	ツツ" ツムス"
3796.95	メツミス <前顔=ツムシ>	マキメ
5646.71	?1オテン	マキメ
5674.11	tsumedzi	tsumudzi
5688.01	!797ツムジ" <797ツムジは797のツムジの名称-797ツムジの子は907のツムジ>	ツムジ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名		C 除いた特殊語	(2)
つむじ		032	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5696.54	to'ri:ma'kime <ニツある島の「島居」の方言名「ける」> ɕidarimaki <左巻き> mi'ɕimaki <右巻き>	ma'kime
5696.68	tori:makime <2ツツむじのある場合>	makime
5697.53	to'ri:tsuɕi'muɕi <2ツあるツむじ>	ma'kume <普通には使っていない>
5698.69	to'rii'tsuɕi'muɕi <ニツある場合>	tsuɕi'muɕi
5723.36	(?donnokumbo)	tsuɕimodzi (多ク [tsuɕimodzi] 新(……?) (tsuɕimodzi) e. 注し 小名波高 松山音字子火段)
6378.87	*モオシ	キ'リ
6389.59	ツムジツムジ (3)	キ'リキ'リ
6457.51	dzu':dzu: dʒi'dʒu: <新>	N-R.
6469.77	ツツムジ	ツシ

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	
	102	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(J)
つむじ 032			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6501.92	ヤヤ (3つめで古語) 被服業者の子の某の項 其の祖父がいらして北にまたい程先で自分も利用して...	ギリギリ
6503.66	zukoten	giri giri
6523.54	ginegine <3>	tsudzic
6561.49	ツツギリ ニコンツシ } <ツムジバ ニツある場合>	ギリギリ ツシ
6570.89	ニナツシ <ニツある時>	ツス ツシ
6571.68	ナナツシ <ニツある時> (ナナツシの音化)	ジンジン
6572.55	pinaitsuzi { <ニツある時> } ナナツシ	giri
6572.97	<inaigiri> <「ナナツシ」といって、ツムジバニツあるとき 言、性質のツムジバとナナツシは、>	giri
6573.71	inaitsuzi <ニツある時> [下町大学下中学校小路では (ginegiri) という と異なり、正教員が補足して、小路は沢の生地]	tsuzi
6583.41	pinaigiriyiri <ニツある時>	giriigiri

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	102	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(4)
つむじ 002			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6585.25	アア) 子へ <子供の時用いた>	ギリギリ<普通に使いる>
6591.02	ニイツジ =つむじ (ニモニコンツジともいう。)	ツジ ギリ<共>
6591.81	ニイツジ ---- 2つの場合	ツジ
6625.17	torie --- 似たつむじ	tsumuzi
6630.82	! tsumūzimo: <少しおけて使うとき>	tsumūzi
6636.62	toritsumuzi <似たもの 似たものに使うとき、似たもの>	tsumuzi
6646.23	tori: tsumuzi <つむじ=つむじの意。前後と肉わた。>	tsumuzi
6665.25	buannukuido: buannukodo:	tsumuzi その地 その地
6698.20	mondziri	その地
4312.11	mutsuzi (馬倒の時之)	giri giri (多)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号	地図番号 102	A 普通注記 ——
項目名 つむじ 052		(B 除いた共通語)
		(C 除いた特殊語) (✓)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7318.04	nikko:mai 〈ニつみるおの呼び名〉	maimai
7331.27	quzui	qirigiri <small>カタコト 方言でなく 7332.27 方言の通用法例) 方言 カタコト</small>
7380.54	fajaji 〈古.希〉	fajaji 〈古.希〉
7423.12	maikomori	mai... 〈この語は中ほどのことより 方言の通用法例〉
7423.77	tehen	{mai} 〈希〉
0294.90	?hadzi... <small>方言の通用法例は、hadziは後頭部にて、つむじは matjidziの正しいつむじ。(ニ.三人は肩でつむじ) 和漢語一般にhadziは後頭部である。</small>	{matjidzi} <small>(1982年5月28日付に 判子記入。上巻は57年11 月27日付判子部にて)</small>